

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の 諸課題に関する調査の結果について

本調査は児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、本調査を通じて実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくものです。この度、本調査の全国・県の結果が公表されたことを受け、本市の調査結果について報告します。

1 調査の概要

- (1) 調査内容
・暴力行為の状況 ・いじめの状況等 ・長期欠席の状況等
- (2) 実施時期 2020年4月
- (3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

		対象学校数	対象人数
全国 (国立・私立を含む)	小学校	19,832校	6,395,842人
	中学校	10,370校	3,248,093人
神奈川県	小学校	857校	448,188人
	中学校	413校	199,482人
藤沢市	小学校	35校	23,234人
	中学校	19校	10,558人

- (4) 調査・回収方法
各学校で回答し、記入後、市教育委員会が回収し神奈川県教育委員会に提出する。その後、各都道府県教育委員会等から提出された調査票に基づいて、文部科学省が集計する。

2 藤沢市の状況

◇ 暴力行為の状況（H29～R1）

【暴力の定義】

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいう。

小学校	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	6	16	9	41	11	101
児童間暴力	19	162	13	115	21	319
対人暴力	0	0	2	4	0	0
器物損壊	0	0	6	6	10	28
合計件数	178件		166件		448件	

中学校	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	5	8	2	7	2	62
生徒間暴力	16	74	15	97	15	92
対人暴力	5	6	1	1	0	0
器物損壊	7	23	8	20	8	18
合計件数	111件		125件		172件	

小・中計	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	289件		291件		620件	
	289件		291件		620件	

※暴力行為の増加は、各学校で暴力行為の発見の意識が高まったことにより、早期発見・早期対応の取組が推進された結果と推察される。また、特定の児童生徒が繰り返していることが件数の増加の要因となっている。

◇ いじめの状況（H29～R1）

【いじめの定義】

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。

《小学校》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成29年度	520	462	58	0
平成30年度	668	571	96	1
令和元年度	677	628	48	1

《中学校》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成29年度	176	165	11	0
平成30年度	143	123	20	0
令和元年度	131	117	14	0

《合 計》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成29年度	696	627	69	0
平成30年度	811	694	116	1
令和元年度	808	745	62	1

○学校で把握したいじめの態様別件数（複数回答）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
冷やかし・からかい 悪口・脅し文句	小	331件	400件	388件
	中	109件	78件	84件
仲間はずれ 集団による無視	小	51件	69件	106件
	中	21件	24件	26件
軽い暴力	小	76件	116件	123件
	中	13件	19件	18件
ひどい暴力	小	23件	30件	32件
	中	0件	0件	4件
金品をたかる	小	5件	5件	7件
	中	2件	1件	0件
金品を隠す・盗む 壊す・捨てる	小	32件	26件	58件
	中	6件	1件	1件
いやなことをされる いやなことをさせられる	小	37件	31件	22件
	中	11件	13件	6件
パソコンや携帯電話 による誹謗中傷	小	2件	9件	13件
	中	17件	19件	26件

◇ 不登校の状況（H29～R1）

【不登校の定義】

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくとも出来ない状況にあることをいう。年間30日以上以上の欠席（ただし、怠学は含み、病気や経済的な理由によるものは除く）

《小学校》

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
平成29年度	13	15	29	24	45	42	168
平成30年度	9	19	20	43	35	60	186
令和元年度	18	20	21	34	55	53	201

《中学校》

	1年	2年	3年	合計
平成29年度	100	148	158	406
平成30年度	113	155	164	432
令和元年度	129	181	185	495

《合計》

	小学校	中学校	合計
平成29年度	168	406	574
平成30年度	186	432	618
令和元年度	201	495	696

《不登校の要因》（R1）

※令和元年度は、「主たるもの」（1人1つ必ず選択）と「主たるもの以外にも当てはまるもの」（1人2つまで選択可）という回答様式の変更があったため、令和元年度の状況のみとなっております。

	小学校		中学校	
	主たるもの	主たるもの以外にも当てはまるもの	主たるもの	主たるもの以外にも当てはまるもの
いじめ	0人	1人	0人	4人
いじめを除く友人関係の問題	22人	11人	75人	25人
教職員との関係	10人	4人	5人	2人
学業の不振	6人	16人	41人	33人
進路に係る不安	2人	0人	3人	9人
クラブ活動・部活動への不適応	0人	0人	5人	7人
学校の決まり等をめぐる問題	0人	5人	0人	0人
入学・転入・進級時の不適応	3人	3人	6人	5人
家庭の生活環境の急激な変化	8人	4人	14人	5人
親子の関わり方	32人	40人	32人	18人
家庭内の不和	4人	3人	12人	15人
生活リズムの乱れ、あそび、非行	26人	17人	38人	14人
無気力、不安	64人	20人	228人	35人
上記に該当なし	24人	2人	36人	0人

3 全国・神奈川県の場合 (R1)

◇ 暴力行為の状況 (対教師・生徒間・対人・器物損壊の総数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	448 (前年比 282 ↑)	6,944 (前年比 774 ↑)	43,614 (前年比 7,078 ↑)
中学校	172 (前年比 47 ↑)	3,143 (前年比 134 ↓)	28,518 (前年比 802 ↓)

児童生徒1,000人あたりの発生件数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	19.3件	15.5件	6.8件
中学校	16.3件	15.8件	8.8件

◇ いじめの状況 (認知件数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	677 (前年比 9 ↑)	22,782 (前年比 2,627 ↑)	484,545 (前年比 58,701 ↑)
中学校	131 (前年比 12 ↓)	5,114 (前年比 453 ↑)	106,524 (前年比 8,820 ↑)

児童生徒1,000人あたりの認知件数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	29.1件	50.8件	75.8件
中学校	12.4件	25.6件	32.8件

◇ 不登校の状況

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	201 (前年比 15 ↑)	4,578 (前年比 839 ↑)	53,350 (前年比 8,509 ↑)
中学校	495 (前年比 63 ↑)	9,570 (前年比 715 ↑)	127,922 (前年比 8,235 ↑)

児童生徒1,000人あたりの発生人数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	8.6人	10.2人	8.3人
中学校	46.9人	48.0人	39.4人